

**平成 24 年度 政策・事業評価**

**外部評価結果**

# 目次

総括 .....	1
個別事業	
1 企画調整部広聴広報課「シティプロモーション事業」 .....	4
2 消防局消防総務課「消防音楽隊活動事業」 .....	5
3 産業部産業振興課「まちなか回遊性促進事業」 .....	6
4 市民協働・地域政策課、各区区振興課「地域力向上事業・区まちづくり事業」 .....	7
5 産業部観光交流課「コンベンション推進事業」 .....	8
6 市民部文化政策課「多彩な文化芸術振興事業」 .....	9
7 土木部土木総務課「道路管理事業」 .....	10
8 都市整備部住宅課「市営住宅ストック総合改善事業」 .....	11
9 土木部河川課「水防団助成事業」 .....	12
10 企画調整部広聴広報課「広聴事業」 .....	13
11 市民部市民協働・地域政策課「中山間地域振興事業（交流居住事業）」 .....	14
12 市民部市民生活課「浜松、浜北、天竜、雄踏、三ヶ日、春野、佐久間・水窪斎場運営事業」 .....	15
13 学校教育部学校施設課「教職員住宅管理事業」 .....	16
14 健康福祉部福祉総務課「地域福祉推進事業(社会福祉協議会活動助成事業)」 .....	17
15 企画調整部企画課「大学等高等教育推進事業」 .....	18
16 健康福祉部保健環境研究所「保健環境研究所運営維持管理事業」 .....	19
17 都市整備部公園課「公園管理・活用事業」 .....	20
18 産業部産業総務課「経営支援事業」 .....	21
19 市民部生涯学習課「生涯学習機会提供事業」 .....	22
20 環境部環境政策課「環境教育・環境学習推進事業」 .....	23
21 健康福祉部高齢者福祉課「高齢者生活支援事業」 .....	24
22 学校教育部指導課「学校・幼稚園特色化推進事業」 .....	25
23 土木部道路課「道路維持修繕事業」 .....	26
24 環境部資源廃棄物政策課「まち美化推進事業」 .....	27

## 総括

( 1 ) 目的 政策・事業評価に浜松市職員以外の第三者の視点を加えることにより、評価の質の向上と信頼性を高めることを目的として実施

( 2 ) 日時 平成 2 4 年 6 月 2 3 日 ( 土 ) 午前 1 0 時 ~ 午後 4 時 3 0 分  
平成 2 4 年 6 月 2 4 日 ( 日 ) 午前 1 0 時 ~ 午後 3 時 2 0 分

( 3 ) 会場 浜松市役所本館 8 階 第 3 ~ 5 委員会室

( 4 ) 参加者

《 2 3 日 》 一般参加 5 1 人  
評価者等 1 0 5 人  
計 1 5 6 人

《 2 4 日 》 一般参加 3 5 人  
評価者等 6 9 人  
計 1 0 4 人      《 2 日間計 》 2 6 0 人

( 5 ) 対象 4 0 事業

\* 平成 2 3 年度に浜松市が実施した全ての事業 ( 約 1,000 事業 ) 所管課の 1 次評価に基づき、財政課や行革審事務局職員を含む庁内評価プロジェクトチームにおいて 2 次評価を実施した中から、以下の ~ などの観点を踏まえ、市民への影響度の高い事業を選定

戦略計画の重点事業

10 年以上の継続事業

予算規模が 1,000 万円以上の事業

( 6 ) 評価基準

区分	今後の方向性
廃止	事業を廃止する、事業の目的を達成したので完了する、民間団体や国・県・広域連合が行なう事業に任せる。(事業のスクラップ)
改善 (実施主体の変更)	市民やNPO団体、民間企業との連携をしていく。民間委託や指定管理に変更する
改善 (一部廃止)	事業の一部を廃止または民営化していく。
改善 (その他)	その他サービス向上やコスト削減を図るため事業の内容を改善する。
現状	現状の業務を継続する。

(7) 外部評価に伴う今後の方向性の見直し

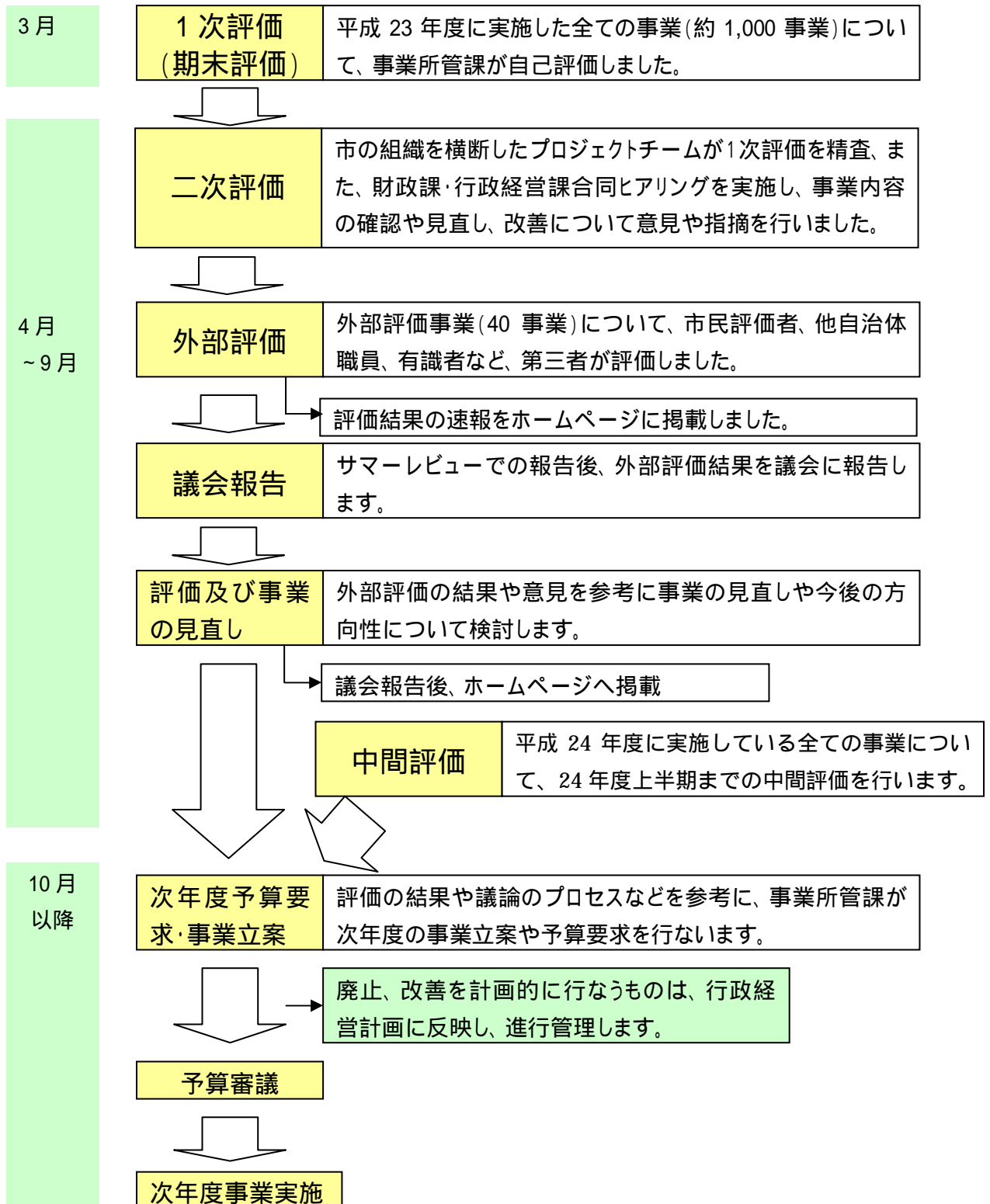
	所属	事業名	一次評価	外部評価結果(人)				
				廃止	改善			現状
					実施主体 変更	一部 廃止	その他	
1	企画調整部広聴広報課	シティプロモーション事業	改善	0	0	0	6	0
2	消防局消防総務課	消防音楽隊活動事業	現状	1	0	1	3	1
3	産業部産業振興課	まちなか回遊性促進事業	改善	0	1	0	5	0
4	市民協働・地域政策課 各区 区振興課	地域力向上事業、区まちづくり事業	-	0	0	2	3	1
5	産業部観光交流課	コンベンション推進事業	改善	0	2	0	3	1
6	市民部文化政策課	多彩な文化芸術振興事業	改善	1	1	2	2	0
7	土木部土木総務課	道路管理事業	改善	0	0	0	4	2
8	都市整備部住宅課	市営住宅ストック総合改善事業	改善	1	0	0	1	4
9	土木部河川課	水防団助成事業	現状	0	0	1	4	1
10	企画調整部広聴広報課	広聴事業	改善	0	0	3	3	0
11	市民部市民協働・地域政策課	中山間地域振興事業 「交流居住事業」	改善	0	1	0	5	0
12	市民部市民生活課	浜松、浜北、天竜、雄踏、三ヶ日、春 野、佐久間・水窪斎場運営事業	改善	0	0	0	4	1
13	学校教育部学校施設課	教職員住宅管理事業	改善	0	0	0	2	4
14	健康福祉部福祉総務課	地域福祉推進事業 「社会福祉協議会活動助成事業」	改善	0	2	1	3	0
15	企画調整部企画課	大学等高等教育推進事業	改善	1	0	1	4	0
16	健康福祉部保健環境研究所	保健環境研究所運営維持管理事業	改善	0	0	0	1	4
17	都市整備部公園課	公園管理・活用事業	改善	0	0	0	4	1
18	産業部産業総務課	経営支援事業	改善	6	0	0	0	0
19	市民部生涯学習課	生涯学習機会提供事業	改善	0	1	0	4	1
20	環境部環境政策課	環境教育・環境学習推進事業	改善	0	0	0	4	2
21	健康福祉部高齢者福祉課	高齢者生活支援事業	現状	0	0	1	3	2
22	学校教育部指導課	学校・幼稚園特色化推進事業	改善	0	0	0	6	0
23	土木部道路課	道路維持修繕事業	現状	0	0	0	3	3
24	環境部資源廃棄物政策課	まち美化推進事業	改善	0	0	2	4	0

事業全体として「改善」

( 8 ) 評価結果の活用

外部評価での議論、評価者や傍聴者からの意見、ホームページで募集した市民等からの意見を基に、所管課で事業の見直しや今後の考え方について検討しました。  
(次ページ以降を参照ください。)

今後は、全事業(約1,000事業)の評価結果と外部評価の結果を議会へ報告するとともに、評価の結果に基づき所管課で予算要求し、議会審議などを経て事業や予算に反映します。



事業名	シティプロモーション事業	企画調整部
		広聴広報課

## 1 所管課1次評価

改善
----

## 2 外部評価

### 評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	0	0	6	0

### 主な意見

- ・総花的ではボケるので、焦点を絞った事業実施をすべき。
- ・「ものづくりのまち浜松」に重点を強化すべき。
- ・全職員がシティプロモーションに取り組み、全市民に広める。
- ・行政からの取り組みだけでなく、市民一人ひとりの取り組みが必要。
- ・国内だけでなく、アジア、海外に目を向けたほうが良い。
- ・首都圏、中京圏だけでなく、三遠南信へもアピールすべき。
- ・長期的視点で成果指標を設定すべき。
- ・PRブック「HAMA 流」の効果の検証方法を検討してほしい。
- ・「HAMA 流」の内容をメールマガジン等でも発信してほしい。

事業名	消防音楽隊活動事業	消防局
		消防総務課

## 1 所管課 1 次評価

現状
----

## 2 外部評価

### 評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	1	0	1	3	1

### 主な意見

#### 廃止

- ・効果の測定ができない。
- ・啓発活動に結びつく、演奏会は少ないのでは。もともと消防音楽隊の無い自治体が、啓発活動のために音楽隊を作るという発想はないので、他の方法を考えるべき。

#### 改善（一部廃止）

- ・地域で音楽活動されている市民の団体に演奏を任せるなどの啓発方法を考えるべきである。
- ・兼務は、本来業務に支障がでるため、職員の勤務は、職務免除で行うべき。

#### 改善（その他）

- ・消防の広報を積極的に行うとともに、より効果的な手法を検討すべき。
- ・必要性は理解できたが、兼務は改善すべき。非常勤職員などを活用し、市民に身近な活動をすることが大切である。
- ・「音楽の都・浜松」として市民に理解しやすい手段を取り入れるべきであり、予算ではなく事業を拡大してほしい。

#### 現状

- ・防災のPRに役立っている。「音楽の都・浜松」として中高生の模範演奏になっている。

事業名	まちなか回遊性促進事業	産業部
		産業振興課

## 1 所管課1次評価

改善
----

## 2 外部評価

評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	1	0	5	0

主な意見

- ・市民の利用者、市外の利用者の意識が考慮されていない。市民利用者の目的に対して、観光資源の活用を目的とするのは、別の議論ではないか。
- ・利用者視点からの改善、これを有効にしてもらって、より愛される交通機関に。
- ・受益者負担を見直し、乗客以外の恩恵を受ける周辺施設等も負担すべきである。
- ・事業評価・分析の手法を再検討する必要がある。委託先についても考えなければいけない。



事業名	地域力向上事業・区まちづくり事業	市民部
		市民協働・地域政策課

## 1 所管課 1次評価

## 2 外部評価

### 評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	0	2	3	1

### 主な意見

#### 改善（一部廃止）

- ・地域力向上事業、区まちづくり事業ともに地域力の向上や地域コミュニティの維持等の観点から必要性は高いが、両事業や各区で類似した取組（事業）もあるため、事業の一部統合や複数の区での共同実施等も含め、検討する必要がある。
- ・市民からの提案があるのは非常に重要である。区を越えた市内外の交流があるものは統合又は他事業に移管する。新たな発想で工夫をしてもらいたい。

#### 改善（その他）

- ・区まちづくり事業について、予算化も含め、スケジュール策定が必要だと思う。
- ・地域の文化、遺産、産業等を総括的に公開する必要があると考える。それによりそれぞれの活動が生きてくると思う。
- ・地域力向上事業では、発表会などを設けて広く市民に知らしめるとともに、評価を受けることも重要だと思われる。
- ・市民協働を推進するために、実際のイベントや事業がどれだけ市民協働につながったものかを検証すべき。ただ事業に必要性はあるため、事業の結果や効果を見極めた上での判断が必要である。
- ・もし廃止するならば、当事者の意見を行い、合意形成をきちんと行う必要がある。
- ・市民提案といいながらも、交通事故防止や海拔表示事業等、各区で同様の事業が行われているし、これらは市が直接実施すべき事業だと思う。また、実施者により補助基準が同一でない場合も考えられるので、市として統一基準を設けた上で、各区に共通する課題は、市が直接実施すべきである。

#### 現状

- ・全市統一基準のあり方、163 全事業シートの改革、改善欄より統一したものが作成できれば良いと思う。
- ・募集期間、タイムリーな情報提供、HP事業の評価指標、事後評価の公表等基準作成の鍵は多くある。

事業名	コンベンション推進事業	産業部
		観光交流課

## 1 所管課1次評価

改善
----

## 2 外部評価

評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	2	0	3	1

主な意見

- ・経済効果が大きいので事業を拡大してほしい。(ほか同様2件)
- ・広域的な連携や市民との連携をしてほしい。
- ・民間活力を活かしてほしい。
- ・人材育成をしてほしい。
- ・誘致効果の測定が必要である。
- ・大事な事業である。

事業名	多彩な文化芸術振興事業	市民部
		文化政策課

## 1 所管課 1 次評価

改善
----

## 2 外部評価

評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	1	1	2	2	0

主な意見

- ・ 激励金を交付するより応援する場の提供などのほうがよい。
- ・ 小中学生将棋名人戦は企業や市民団体、文化振興団体等に任せて、廃止すべきである。
- ・ 経費の丸投げでなく、市民がステップアップするために、協働の形を希望する。

事業名	道路管理事業	土木部
		土木総務課

## 1 所管課1次評価

改善
----

## 2 外部評価

評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	0	0	4	2

主な意見

- ・地図情報システムを作成する場合は、横断的な組織で、効率的に作ってほしい。
- ・各課とのシステムの共有化を図ること、災害時の運用の仕方を検討してほしい。使えるシステムとしてほしい。
- ・地図情報システムの作成は、普通にどんどん進めてほしい。電子申請化100%も進めてほしい。
- ・愛護団体の増加に向けた取り組みは一生懸命やっているし、路線数も相模原市の倍もある。今後とも市民にもっと広報して、愛護会の団体数を増やしてほしい。

事業名	市営住宅ストック総合改善事業	都市整備部
		住宅課

## 1 所管課 1次評価

改善
----

## 2 外部評価

### 評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	1	0	0	1	4

### 主な意見

- ・ 廃止：1名
  - ・ 老朽化した市営住宅を改修するよりも建替えた方が利用する率が多くなると考える。
- ・ 改善（その他）：1名
  - ・ 事業を廃止すると居住の確保が困難であり、セーフティネット機能をさらに強化するには福祉部署と連携を密にし、市営住宅は維持すべき。
- ・ 現状：4名
  - ・ 市営住宅ストック総合活用計画を推進していくべきと考えます。県との役割分担を明確にし、市と県との連携が必要。
  - ・ 市営住宅ストック総合活用計画は10年という長期的なスパンであり、長寿命化も含めて考えていくことが必要だと考えます。企業的な視点での資料は、市民目線で分かりやすいと評価する。
  - ・ 市営住宅は課題が多いが、規模縮小や集約は継続して考えていただきたいです。また、緊急入居的な住宅も必要。
  - ・ 高齢者や障害者等への福祉施策は市が行うべきだと考えます。バリアフリーで家賃が安いとなれば、応募者が多くなると思う。

事業名	水防団助成事業	土木部
		河川課

## 1 所管課 1 次評価

現状
----

## 2 外部評価

### 評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	0	1	4	1

### 主な意見

- ・ 互助会の交付金や食料費の補助は廃止して個人負担とすべき。
- ・ 互助会の事業内容を精査すべき。
- ・ 互助会の親睦活動を改善すべき。
- ・ 互助会事業の縮小と公金支出を廃止（団員掛金のみによる運営）すべき。

事業名	広聴事業	企画調整部
		広聴広報課

## 1 所管課1次評価

改善
----

## 2 外部評価

評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	0	3	3	0

主な意見

### 【施設めぐりについて】

- ・ 受益者負担を求めないのであれば、意見聴取方法を検討する必要あり。
- ・ 意見を求める場合には、施設を含む窓口で聴取すればよい。
- ・ 利用者年齢層の偏りと実際に寄せられている意見の内容からすると、広聴事業の有効性に疑問があり、施設めぐりは廃止すべき。
- ・ 施設めぐりについて、もっと施設の評価、提案、意見を問う内容に改善すべき。
- ・ 施設めぐりに必ずバスを使う必要はなく、現地集合などの方法を検討してほしい。
- ・ 施設めぐりはエンドユーザーのマーケティングとして捉え、意見交換やレポートを設定したらどうか。

### 【パブリック・コメントについて】

- ・ パブリック・コメントは、計画の策定過程や問題点として議論されてきた内容を各課に付記してもらい広聴してほしい。
- ・ パブリック・コメントは附属機関がなくなる方向において重要な制度である。
- ・ パブリック・コメントについて、反映されやすさを狙っている広聴サイドと担当課の認識の違いが課題である。
- ・ パブリック・コメントへの意見の提出者が増加していない。意見公表以前に、まずパブリックコメントがどのようなものなのかを、どのように市民全体に知らせるか、考えてほしい。
- ・ 広聴と市民参画との違いについて考え、広聴・市民協働・担当課それぞれの役割を議論する必要あり。

事業名	中山間地域振興事業(交流居住事業)	市民部
		市民協働・地域政策課

## 1 所管課1次評価

改善
----

## 2 外部評価

### 評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	1	0	5	0

### 主な意見

#### 改善（実施主体の変更）

- ・都市部の住民の田舎暮らしのニーズを把握し、市、企業、NPO 等で定住希望者の受け入れ態勢を整えるべき。定住希望者と地元の双方にメリットがあることが大切である。

#### 改善（その他）

- ・イベントによる誘客だけでなく、他市の中山間地区との差別化を図るなど広報の方法を改善すべき。
- ・定住を図るため、将来を見据えた事業展開が必要である。
- ・事業目的が不明確、地域により戦略も異なるためモデル地区を選定し事例を作ったらどうか。
- ・田舎を知らない方の視点から、田舎に対するイメージを向上（マイナスイメージの改善）するような広報の充実が必要である。
- ・移住者のニーズの把握、集落とのかかわりをどのように作るかなど移住者の定住をサポートする必要がある。



事業名	浜松、浜北、天竜、雄踏、三ヶ日、春野、佐久間・ 水窪斎場運営事業	市民部
		市民生活課

## 1 所管課1次評価

改善
----

## 2 外部評価

評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	0	0	4	1

主な意見

- ・ 市外の方の火葬料は、経費相当分とするべき。
- ・ 市民の火葬料が無料の自治体は、全国的に見ると少ないので、段階的に有料化すべき。
- ・ ペットの火葬料は少し安いと思う。
- ・ 施設の利用状況や経過年数を踏まえて運営をしてほしい。
- ・ 市内利用者は、市民意見をよく聞いて有料も含め検討してほしい。
- ・ 受益者負担を検討してほしい。

事業名	教職員住宅管理事業	学校教育部
		学校施設課

## 1 所管課 1 次評価

改善
----

## 2 外部評価

評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	0	0	2	4

主な意見

- ・阿多古の教職員住宅 6 棟の廃止についても検討してほしい。
- ・将来を見据えての廃止計画も策定されており、現状どおりでよい。
- ・児童の減少を踏まえ、市県職員等による合同宿舎のようなものを考えてはどうか。また、現状以上に環境を良くしてほしい。

事業名	地域福祉推進事業 (社会福祉協議会活動助成事業)	健康福祉部
		福祉総務課

## 1 所管課1次評価

改善
----

## 2 外部評価

評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	2	1	3	0

主な意見

- ・ 拡大する福祉ニーズに対応するため共助を充実する必要がある。
- ・ 補助金が年々減額していて評価できる。
- ・ 市の地域福祉推進事業と方向性が合えば拡大の見直しがあってもよい。
- ・ 今後拡大傾向にある福祉には、社会福祉協議会の自立又は民間企業と連携することで「公」ではなく、「市民が浜松市を支える」形をとるよう市が促していくようにすべき。
- ・ 事業内容を見直し、自助の部分拡大し、将来的には補助金の廃止にもっていくべき。
- ・ 収益事業の改革に取り組むよう更に進めるべき。
- ・ 指定管理業務について、経営の視点にもっと重点を置くべき。民業圧迫の視点であるならば、指定管理業務から撤退すべき。

事業名	大学等高等教育推進事業	企画調整部
		企画課

## 1 所管課1次評価

改善
----

## 2 外部評価

評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	1	0	1	4	0

主な意見

- ・より内容の充実を。インターンシップや企業との連携も強めてはどうか。
- ・共同授業の受講者数増などの規模拡大を。
- ・継続を前提としつつ、FD 充実や共同授業受講生の増などに向けて見直すべき。
- ・大学撤退は地域経済に甚大な影響を与えるため、市も関与すべきだが、成果指標設定は困難だろう。行政として何が支援できるか、事業目的を再考すべき。
- ・大学側がやりやすいよう、市の関与のあり方を模索すべき。
- ・「市にとってどんな実利があるか」が重要で、成果指標の設定にも関わる問題。有能人材の確保が目的なら、「有能さ」の定義を設定すべき。ただ、一般に大学間の連携よりは競争の方が市民受けがよいので、各分野内での順位を競うなどの仕組みが必要では。

事業名	保健環境研究所運営維持管理事業	健康福祉部
		保健環境研究所

## 1 所管課1次評価

改善
----

## 2 外部評価

評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	0	0	1	4

主な意見

改善(その他)

- ・ 電気使用量など工夫する余地がある。

現状

- ・ 社会的要求が増す中、財政的困難から現状維持
- ・ 市民の安全、安心の観点から研究所の必要性は高い。今後も経費の削減に努め、事業を進めてほしい。
- ・ 今まで以上の民間活用と業務の効率化を図りたい。
- ・ 食品や環境に関する必要な情報を積極的に市民へ提供をしてほしい。
- ・ 常に改善努力している現行の姿勢がよい。

事業名	公園管理・活用事業	都市整備
		公園課

## 1 所管課1次評価

改善
----

## 2 外部評価

評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	0	0	4	1

主な意見

- ・ 公園の必要性を検討し、必要に応じて用地買収を進めるなど適切な公園管理に努める必要がある。
- ・ 特に廃止が難しい都市公園については、計画的な買収を進める。その他の公園については、必要性を見直しして、廃止も含め存続を検討する必要がある。
- ・ 用地買収のスピードを上げる必要がある。
- ・ 借地の方法について検討の余地がある。
- ・ 契約方法の変更を提案すべきである。
- ・ 当面は現行どおり、将来的には縮小していく

事業名	経営支援事業	産業部
		産業総務課

## 1 所管課1次評価

改善
----

## 2 外部評価

評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	6	0	0	0	0

主な意見

- ・事業の必要性については認められる。
- ・しかしながら、利用件数が少ないことや、他の産業支援団体等における類似事業が充実していることから「廃止」が適当と思われる。
- ・ただし、中小企業者の相談に対する窓口案内業務など、今後においても市が担うべき役割があると考えられる。

事業名	生涯学習機会提供事業	市民部
		生涯学習課

## 1 所管課1次評価

改善
----

## 2 外部評価

評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	1	0	4	1

主な意見

- ・ 市は民間ではできない分野に特化し、民間、市民主導になる仕組みづくりを進め、将来的には市の関わりを少なくしていくべき。
- ・ 目的の指標をしっかり考えて目的を明確化し、一つ一つの事業を評価して改善すべき。
- ・ コストのあり方等の精査は必要。現時点では生涯学習の充実や市民協働の推進は行政主導で行う必要は高いと思うが、今後は見直す必要がある。
- ・ もう少し市民の意向に沿った活用し易い対策が必要と考える。
- ・ 幅広い講座の開催は必要であるが、「人づくり」「まちづくり」という方向性・事業目的を明確にすべき。
- ・ 無理に市民主導ではなく、市がリーダーシップをとって人づくりをしていけばよいと思う。仕組みづくりには時間が必要で、まずは根付かせることが大切。



事業名	環境教育・環境学習推進事業	環境部
		環境政策課

## 1 所管課1次評価

改善
----

## 2 外部評価

評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	0	0	4	2

主な意見

- ・効率よく運営されており、予算、事業規模、活動内容の拡大を図ってもよい。市民意見を取り入れれば、さらによくなると思う。
- ・環境は市民が主体にならないと実現不可能であり、予算を有効に活用する観点からはノウハウのある職員として非常勤・再任用の活用をすべき。
- ・市が中心となりながらも市民主導へなるべく持っていくべき。税金が無駄に使われないよう、民間からの寄付金等を募ることや、通信手段にメールを利用することなどを考える必要がある。
- ・レベルアップ講座の充実や、今後増加が予測される指導員謝礼をどうしていくか検討が必要。また、協働するNPO法人への支援方法も検討すべき。
- ・市として積極的に進めていくべき事業と考える。指標設定の市民満足度は難しいと思うので、成果を明確化し、プランの的確な進行管理をしていただきたい。

事業名	高齢者生活支援事業	健康福祉部
		高齢者福祉課

## 1 所管課1次評価

現状
----

## 2 外部評価

### 評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	0	1	3	2

### 主な意見

- ・支援の対象となる高齢者が増加すれば、当然、市の負担も増加するため、限りある予算を有効に使うよう、何らかの努力や見直しが必要ではないか。
- ・高齢者配食サービスについては、公平性の観点から受益者負担の見直しが必要であり、配送費の部分についても、一部受益者負担にしてもいいのではないか。
- ・事業の見直しは常に必要であり、高齢者福祉施策全体で受益者負担や対象者要件のあり方について検討する努力も必要ではないか。
- ・サービス内容を見直すほか、例えば安否確認には地域コミュニティの充実によりカバーするなど、幅広い視点での見直しも必要である。
- ・事業そのものは、在宅での生活を支える必要なものであり、現状を維持してほしい。

事業名	学校・幼稚園特色化推進事業	学校教育 部
		指導 課

## 1 所管課 1次評価

改善
----

## 2 外部評価

### 評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	0	0	6	0

### 主な意見

- ・平成12年度からの事業で、もう一度、事業の意義を問い直してほしい。
- ・市民に理解してもらえるよう一般市民への分かり易いPRの仕方を考えてほしい。市教委がまとめて情報公開すべき。見える化を進めてほしい。
- ・地域力向上のため、浜松育ちの子が浜松に戻り、地域で活躍できる人材を育て、特に次世代の生徒の受益が見込める中学校への配分を増やすべき。また、親や学校の負担のないように。
- ・委託だと事業計画書や報告書を作る必要があり、学校に負担がかかっていると思われるので、学校予算として配分すべきと考える。枠配分方式など学校の創意を生かせるような予算配分・措置の方法を検討してほしい。

事業名	道路維持修繕事業	土木部
		道路課

## 1 所管課 1次評価

現状
----

## 2 外部評価

### 評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	0	0	3	3

### 主な意見

- ・他のパトロールと道路パトロールとの統合はできないのか。
- ・道路パトロールによる改善率が低いようであれば、回数を減らすことも考えられる。また、今以上に市民からの危険箇所の情報を多く取り入れるための広報やシステムづくりをしていけばどうか。
- ・改善がないのでは、PDCAが回らない。パトロールや通報などが機能しているのかの評価・検証を行い、改善へ繋げるべき。
- ・委託料については、再任用職員の活用等により、削減が図られるのでは。
- ・延命化対策と公共工事を一体とすることにより、コスト縮減を更に進めてほしい。

事業名	まち美化推進事業	環境部
		資源廃棄物政策課

## 1 所管課1次評価

改善
----

## 2 外部評価

評価結果

	廃止	改善 (実施主体 の変更)	改善 (一部廃止)	改善 (その他)	現状
評価(人)	0	0	2	4	0

主な意見

- ・不法投棄対策は市民と行政と協働により取組む必要がある。
- ・不法投棄監視パトロールを強化し発生抑制を図る必要がある。
- ・不法投棄自体に関心がない人が多いので、市民全体での雰囲気づくりが必要。環境問題に税金が費やされていることをもっとPRすることで効果が上がると思う。
- ・環境美化の基本は市民協働であるので、我々市民がしっかりしないと改善されない。行政はもっと広い視点から各事業者や自治会等をコーディネートするだけで、基本的に市民主体で進めるべき。
- ・鍛冶町公衆便所は周辺住民等の理解を得ながら早期に廃止すべき。
- ・小中学校での教育だけでなく、一般市民向けの啓発を充実していくべき。